

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2年 1月 7日 更新

事務事業名	感染症予防事業		<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2 福祉の健康	所属部	健康福祉部	課長名	斎藤 和広
	施策	5 健康づくりの推進	所属課	健康づくり推進課	担当者名	太田 真由美
	施策の柱	21 地域医療体制の充実	所属班	健康推進班	(内線)	1633
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 2	事業連番 10380	根拠法令
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 30年度で終了 <input type="checkbox"/> 30年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	予防接種法に基づく定期接種及び行政措置での任意接種を実施。平成27年度より二種混合を集団接種から個別接種とし、全ての予防接種が個別接種での実施となった。また、併せて感染症予防の普及啓発を行う事業である。 定期接種は平成28年10月にB型肝炎が追加され、四種混合(百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ)、二種混合(破傷風・ジフテリア)ヒブ、小児用肺炎球菌、BCG、不活化ポリオ、MR(麻しん・風しん)、日本脳炎、水痘、65歳以上のインフルエンザ、成人用肺炎球菌である。 行政措置での任意接種は、1歳～65歳未満のインフルエンザである。 予防接種の自己負担(1回あたり)は、65歳以上のインフルエンザ1,300円、成人用肺炎球菌3,000円、1歳～64歳のインフルエンザ1,800円、その他の定期予防接種は自己負担なく、市が全額負担している。 定期接種であった子宮頸がん予防ワクチンは、副反応報告が相次いだため、平成25年6月14日以降接種勧奨の差し控えとなっている。
【業務の流れ】	医療機関と契約。予診票作成。個別接種の実施。 すこやかカレンダー・広報・健診・家庭訪問等で周知。 接種台帳管理、電算入力等の事務処理。 予防接種実施医療機関からの予診票、請求書の提出を受け、確認後委託料を支払う。
【主な予算費目】	需用費(消耗品費・印刷製本費)、役員費、委託料、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	市民の方から、定期予防接種の種類が増えたが、乳幼児の接種費用は無料なため経済的に助かるとの意見あり。

1 現状把握の部 (DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO)	予防接種法に基づき、個別接種を実施し感染症予防に努めた。 個別接種(延人員)：ヒブ2,636人、小児用肺炎球菌2,603人、BCG670人、不活化ポリオ19人、二種混合707人、四種混合2,705人、MR(麻しん・風しん)1,488人、日本脳炎3,440人、子宮頸がん予防ワクチン0人、水痘1,423人、B型肝炎1,947人、成人用肺炎球菌ワクチン1,465人の実績であった。インフルエンザ予防接種は27,740人。	31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 個別接種(ヒブ・小児用肺炎球菌・BCG・不活化ポリオ・DT・DPT-I・IPV・MR(麻しん・風しん)・日脳・子宮頸がん予防ワクチン・水痘・B型肝炎・インフルエンザ・成人用肺炎球菌・成人の風しん抗体検査及び第5期定期接種)の実施。乳幼児健診・広報・個人通知で予防接種について周知。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 市が実施をした予防接種の件数	種類	→ ア: 予防接種法改正に伴う、風しん抗体価検査及び風しんの定期予防接種実施のための増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 人	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
乳幼児、9歳～13歳未満(日脳)、20歳未満(日脳特例)、小学6年生(DT)、中学1年生～高校1年生(子宮頸がん予防ワクチン)、インフルエンザは1歳以上の市民。成人用肺炎球菌65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳、101歳以上。風しん抗体検査及び第5期接種は41歳～37歳の男性。	→ ア: 予防接種の延対象者数(人口)	→ イ: 件
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
感染症を予防することができる。	→ ア: 接種件数	→ イ: 件
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
接種者数が増えることで、感染症の予防ができ本事業の意図につながるため成果の指標とする。また、保護者が接種の必要性を理解できるよう働きかけていく必要がある。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度実績(決算)	29年度実績(決算)	30年度目標(当初予算)	30年度実績(決算)	31年度目標(当初予算)	2年度予定	3年度見込	4年度見込	
① 活動指標	種類	ア	13	13	13	13	14	14	14	14	
	イ										
② 対象指標	人	ア	61,022	61,652	61,500	62,343	62,000	62,500	63,000	63,526	
	イ										
③ 成果指標	件	ア	44,515	43,499	45,000	46,869	47,000	47,000	47,000	46,900	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	161							
		都道府県支出金	千円		42	50	168	50	50	50	
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	235,102	231,750	238,169	244,320	256,656	240,000	240,000	240,000
		(A) 事業費計	千円	235,263	231,792	238,219	244,488	256,706	240,050	240,050	240,050
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	0	4,766	2,988	3,673	3,984	3,984	3,984	3,784
人件費	人		10	7	6	5	6	6	6		
延べ業務時間	時間		1,134	1,205	750	932	1,000	1,000	1,000	950	
トータルコスト(A)+(B)	千円		235,263	236,558	241,207	248,161	260,690	244,034	244,034	243,834	

事務事業名	感染症予防事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	---------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は30年度の事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 感染症予防の啓発・周知を行ったため、目標を達成した。
	②31年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 未接種者への個別通知や感染症予防の啓発・周知を行うことで目標達成できる。
有効性評価	③成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 予防接種の必要性、効果等を健診や広報等で周知し、勧奨を行なうと共に、必要時には個別通知を行うなど向上の余地あり。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似した事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 他市町と比較をしたが、接種料金は適正である。また、平成31年度は消費税改訂に伴い、接種料金や個人負担金に改訂も予定している。しかし、自己負担を増額することで、接種率が下がり、感染症の蔓延やそれによる医療費増につながらないよう配慮が必要である。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 予防接種事業のスムーズな運営を行うためにも、必要不可欠な人数で実施している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 乳幼児・学童の定期予防接種については、接種対象の年齢が法で定められており、その年齢時はすべて無料の対象であることから、公平である。また、インフルエンザ、高齢者の肺炎球菌については一部負担があるが、近隣市町と足並みを揃えているので公平と考える。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 予防接種法で定められているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

予防接種によって免疫を獲得し、感染症の集団予防または重症化予防を図っていくことが重要である。そのため予防接種は適切な接種期間で接種をする必要がある。接種機会を逃さないよう対象者への周知 (個別・広報誌・ホームページ等)を行うことが重要である。今後も、予防接種をとりまく状況は変化が大きいので、適切に対応していく必要がある。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>風しん追加的対策が平成31年度から令和3年度まで実施される予定のため、今後受検率・接種率の向上に向けて未接種者への再勧奨通知を行うなど検討を行う。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>今後、国が定める方針に基づき実施方法を検討していく。</p>																						